

羅針盤



2017年7月22日(土) 第16号

＝ 7月のことば ＝

私は失敗したのではない。
これではうまくいかないとい
う方法を1万回発見した
だけだ。(トーマス・エジソン)

みんなで応援しよう！！～全国大会等に出場する部・委員会～

◆高校総体全国大会

☆女子バスケットボール部：7/28(金) 対 埼玉栄(埼玉)(福島県福島市「国体記念体育館」)

☆男子ソフトボール部：8/5(土) 対 倉吉東(鳥取)(山形県南陽市)

◆第41回全国高等学校総合文化祭(みやぎ総文2017)

☆放送委員会：放送部門(8/3～4、仙台市) ☆化学部：自然科学部門(8月2日～4日、仙台市)

☆クラシック部：器楽・管弦楽部門(8/1、岩沼市) ☆美術部：美術・工芸部門(7/31～8/4、仙台市)

☆かるた部：小倉百人一首かるた部門(7/31～8/2、塩竈市)

◆第64回NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会(7/24～27、東京都)・・・☆放送委員会

◆第39回全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会(7/22～23、滋賀県)・・・☆かるた部

音楽系3部の定期演奏会も聞きに、見に行きませんか

◎コーラス部：7/26(水) 17:00 開場・18:00 開演 第47回定期演奏会(郡山市民文化センター大ホール)

◎吹奏楽部：8/9(水) 17:00 開場・18:00 開演 第17回定期演奏会(同 大ホール)

◎クラシック部：8/11(金) 13:30 開場・14:00 開演 第16回定期演奏会(同 中ホール)

黎明 17 期生へのメッセージ ～教育実習生から～

永瀬 早彩 さん(国語、東海大学文学部日本文学科)

一学年の皆さん、三週間ありがとうございました。1年6組の皆さんはもちろん、廊下で声を掛けてくれた皆さんとも、たくさん話ができて、皆さんの明るさと笑顔が私の緊張や不安をほぐしてくれました。皆さんとお話していると、高校生のキラキラした時間に戻ったような気分になり、とても楽しかったです。私自身にあまり自慢できるようなところはないので、皆さんに立派なアドバイスをすることはできませんが、一つだけ、皆さんにお伝えするとしたら、「今、一緒にいる仲間を大切にしてほしい」ということです。大学生になった今でも、本当に辛い時に支えになってくれるのは高校の友達であると感じています。勉強に部活に忙しい日々を一緒に乗り越えて、充実した素敵な時間を共に過ごしてきた仲間はやはり、自分のことを悪いところも含めて心底理解してくれる存在になっていくのだと思います。皆さんは今、本当に忙しい日々を過ごしていると思いますが、ぜひ、時には友達と思い切り笑い合う時間や、楽しくはしゃぐ時間を作って、高校生活で思い出や友達をたくさん作ってください。今当たり前に一緒にいる友達や、何気ない日々が何年後か、必ず自分の宝物になります。最後に、皆さん本当にありがとうございました。この三週間は私の宝物です！

増子 幸奈 さん(英語、東京学芸大学教育学部中等教育教員養成課程英語専攻)

17期生の皆さん、3週間本当にありがとうございました。毎日校舎内で皆さんとすれ違うたびに、元気な挨拶からパワーをもらっていました。自分から気持ちのよい挨拶ができることは、皆さんの大きな強みである

と思います。これからもぜひ、続けていってください。

さて、「先輩の話を聞く会」でお話したことを、この場で改めてお伝えたいと思います。黎明での3年間の最後には「受験」という一大イベントがありますね。受験と聞くと、辛いとか、大変とか、マイナスのイメージを持っている人も多いと思います。私もそうでした。たしかに受験勉強は辛いし、逃げ出したくなる時もあります。しかしそんな時はぜひ、卒業した後のことを考えてみてください。自分の理想の大学生活を、たくさん妄想してみてください。やりたいことを全部書き出してみてください。それらは、皆さんが頑張るための大きなモチベーションになるはずですよ。受験は、皆さんの理想の未来を実現するための「手段」で、決して「ゴール」ではありません。皆さんにとってのゴールはもっとずっと先にあることを、どうか忘れないでください。

皆さんの3年間で、充実したものとなりますように。ずっと応援しています。

吉田 昂佑 さん（数学、法政大学理工学部創生科学科）

1学年の皆さん、まずは先週までの3週間、本当にありがとうございました。皆さんの方から優しく、積極的に関わってきてくれたおかげで今、この文章を書いている時も、ここを去るのが本当に名残惜しい気持ちです。とても素敵な学年だと思います。

そんな皆さんに僕からお願いがあります。それは、日々当たり前と感じてしまう生活の中に、自分で変化を付けてほしいということです。皆さんは勉強、部活など色々あって、とても忙しいと思います。その分、自分の生活が受け身になりがちで、自分から何かをするということがあまりないのではないのでしょうか。本当に些細なことでもいいです。自分の帰り道にあるけど行ったことがないお店に友達と行ってみたい、帰り道を少し変えて、見たことのない景色を歩いて家に帰ってみたい、あまり話したことがない友達や部活の先輩、先生と自分からお話ししてみたりと、たくさんあると思います。最近、ニュースで流れる「将棋」とはどういうゲームなのか少しやってみたり、普段見ないテレビ番組を見てみたいのもいいと思います。それらを通じて、たくさんものを見て、聞いて、感じとることで、皆さんの高校生活がより充実したものになるのではないかと思います。そうなるよう、心から祈っています。

僕にとって、この教育実習は、21年間生きてきて間違いなく1番の思い出です。一生の宝物です。1学年の皆さん、本当にありがとうございました！

仲川 真由 さん（国語、都留文科大学国文学科）

安積黎明の11期生として卒業してから、早3年とすこし。再び跨いだ安積黎明高等学校の敷居は、ほんの少しだけ高く思えました。2週間の教育実習に、私はとても緊張していたからです。

……けれど、そんなものはあっという間に吹っ飛んでしまいました。迎えてくれたのは、輝くばかりの笑顔。礼儀正しく真面目で、けれど何事にも全力で、楽しむ時は思い切り楽しむ。梅雨の季節にも負けない、17期生のきらきら黎明生パワーに当てられて、私まで元気をもらったようです。皆さんのその真っ直ぐな在り方は、きっとこの先、素敵な武器になるでしょう。

7組、8組の皆さん。君たちのクラスで授業ができてよかったです。いつも全力で考え、答えてくれる皆だったからこそ、私は最後まで授業ができました。ありがとうございました。

3組の皆さん。素晴らしい歌声と、暖かい言葉と、たくさん笑顔を本当にありがとう。私はこの2週間、3組の担当でいられて、とっても幸せでした。

最後に。無限の可能性を秘めた17期生の皆さんに、私の大好きな言葉を贈らせてください。

「行け。勇んで。小さき者よ。」——夜明けを越えたその先に、皆さんの歩みの先に。どうか、幸多からんことを願います。

※8/21(月)で夏休みは終了。22日(火)は全校集会の後、4～6校時は「課題テスト」。7校時目は授業です。課題内容を確認し、しっかりと学習してテストに臨みましょう。